

平成 26 年度

決 算 報 告 書

第 11 期事業年度

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

国立大学法人 高知大学

平成26年度 決算報告書

国立大学法人高知大学
(単位：百万円)

区 分	予算額 (年度計画)	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収 入				
運営費交付金	12,322	11,789	△ 533	(注1)
施設整備費補助金	1,172	2,519	1,347	(注2)
補助金等収入	982	1,531	549	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	56	56	-	
自己収入	19,118	19,018	△ 100	
授業料、入学料及び検定料収入	3,158	3,113	△ 45	
附属病院収入	15,691	15,502	△ 189	(注4)
財産処分収入	-	0	0	
雑収入	268	403	135	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,566	1,543	△ 23	(注6)
引当金取崩	117	149	32	
長期借入金収入	4,109	3,562	△ 547	(注7)
目的積立金取崩	-	80	80	
計	39,445	40,247	802	
支 出				
業 務 費	30,582	29,106	△ 1,476	(注8)
教育研究経費	14,131	13,074	△ 1,057	
診療経費	16,451	16,032	△ 419	
施設整備費	5,338	6,137	799	(注9)
補助金等	982	1,531	549	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,566	1,507	△ 59	(注11)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	975	942	△ 33	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	39,445	39,222	△ 223	
収入－支出	-	1,025	1,025	

(注) 記載金額については、百万円未満を四捨五入して表示している。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特別経費が措置された一方、業務達成基準適用事業の一部が翌年度に繰越となったため、予算額に比して決算額が533百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金収入については、予算段階では予定していなかった老朽対策等基盤整備事業等が今年度に繰越となったため、予算額に比して決算額が1,347百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国立大学改革強化推進補助金が採択されたこと等により予算額に比して決算額が549百万円多額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、病床稼働率の低下等により、予算額に比して決算額が189百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として科学研究費補助金間接経費の受入増加等により、予算額に比して決算額が135百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、前年度以前における繰越額を今年度に支出した129百万円を含めて計上しています。
- (注7) 長期借入金収入については、病棟・診療棟改修工事が入札不調等により翌年度に繰越となったため、予算額に比して決算額が547百万円少額となっています。
- (注8) 業務費については、退職手当や業務達成基準適用事業の一部が翌年度に繰越となったため、予算額に比して決算額が1,476百万円少額となっています。
- (注9) 施設整備費については、(注2)及び(注7)の理由により予算額に比して決算額が799百万円多額となっています。
- (注10) 補助金等収入については、(注3)の理由により予算額に比して決算額が549百万円多額となっています。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、前年度以前における繰越額を今年度に支出した129百万円を含めて計上しています。